

## 企画ワークショップ④

主発表者：

乾明紀(京都光華女子大学)

連名発表者：

中鹿直樹(立命館大学)

荒木寿友(立命館大学)

石橋智晴(京都教育大学大学院連合教職実践研究科)

企画ワークショップ：「緩やかな所属による組織活動」における人材支援について

企業や地域を支える活動に従事する者は、民間セクターや公共団体に所属する正規雇用労働者だけに限らない。少子高齢化、公的財政の悪化、働き方の多様化などを背景に、企業では非正規雇用の派遣労働者、地域ではボランティアや大学生がその重要性を高めている。これらの活動の特徴は、活動に際して企業やボランティア組織などに所属し、その構成員として組織的な目標は与えられるものの正規雇用労働者とは異なり、限られた役割や時間の中で活動をすることが多い。また、日常的に他のメンバーと行動を共にすることが少ない「緩やかな所属による組織活動」である。社会的な重要性を増しているこのような組織活動ではあるが、「キャリア形成」や「学習」に関する研究は、正規雇用労働者を対象にしたものに比べはるかに少なくさらなる研究が求められている。

そこで、本企画ワークショップでは、「緩やかな所属による組織活動」を対象に、そこに所属する当事者が、単に「働く」や「タスクをこなす」だけではなく、「活動目標に向かって他者と協同しつつ、自身が選ぶ行動の選択肢拡大に積極的に関与する学習者であり続ける」ための支援方法について検討する。

第1部では研究の枠組みを紹介した上で、次の2つの報告をおこなう。(1) 訪問介護事業を展開する企業での組織開発事例から見えてきた人材育成に必要な支援方法を報告する。

(2) 活動参加者の学びや行動を促進するファシリテーショングラフィックを紹介する。

第2部では、次の2つの報告をおこなう。(3) 学生ジョブコーチの実践事例から見えてきた人材育成に必要な支援方法を報告する。(4) 新しい学びの場として注目されているワークショップの機能を3類型に整理し、ワークショップの意義を報告する。

なお、ファシリテーショングラフィックで、第1部の内容を教室内で掲示していますので、第2部からの参加も可能です。

### 第1部

本研究の枠組み紹介・訪問介護事業を展開する企業の事例から見えてきたもの：乾明紀  
ファシリテーショングラフィックという支援：石橋智晴

### 第2部

学生ジョブコーチの事例から見えてきたもの：中鹿直樹

ワークショップの3類型：荒木寿友